

東洋陶磁学会 2008年(平成20年)度 事業報告

総会

日時 平成20年5月31日(土)午後1時～

会場 東京藝術大学美術学部中央棟第3講義室

特別報告 「2007年中国古陶磁学会雲南大会報告」森 達也

「韓国の学会動向」吉良文男・片山まび

「フランス・セーブル美術館で開催された薩摩焼展の報告」西田宏子

「江戸・明治時代の輸入欧州陶磁」尾野善裕

大会(参加者92名)

日時 平成20年11月22日(土)・23日(日)・24日(月・祝)

会場 コムズ(松山市)・香川県立ミュージアム

テーマ 「四国・淡路の陶磁器－砥部焼・屋島焼の生産と流通－」

日程

11月22日(土)午後1時～

・東洋陶磁学会常任委員長挨拶

・研究発表

砥部焼の歴史的な変遷

山本 典男(愛媛セラム(株))

砥部焼諸窯出土の製品と窯道具

石岡ひとみ(愛媛県歴史文化博物館)

・見学会

砥部焼伝統産業会館 案内説明:山田邦雄 →陶祖ヶ丘(陶片破片窯道具を貼り付けた壁の見学

案内説明:山本典男・石岡ひとみ →大下田窯跡(移築窯跡)見学 案内説明:岡田敏彦 →

砥部焼伝統産業会館 に戻る

11月23日(日)9時10分～

・研究発表も

西岡焼の製品と窯道具

井上 隆文(東温市)

波佐見焼と砥部焼の製品・技法 の相違

中野 雄二(波佐見町教育委員会)

近畿地方出土の砥部焼について

赤松 和佳(大手前大学大学院)

中国地方出土の砥部焼

福原 茂樹(広島市文化財団)

松山城三之丸跡の発掘調査

西村 直人(松山市教育委員会)

地方窯と消費地遺跡

堀内 秀樹(東京大学埋蔵文化財調査室)

肥前陶磁生産技術の地方窯への伝播

大橋 康二(佐賀県立九州陶磁文化館)

・討 論

司会:佐々木達夫・日下正剛

11月24日(月・祝)9時半～

・研究発表

土型と製品からみた屋島焼・源内焼

佐藤 竜馬(香川県)

富田焼・理兵衛焼」

森下 友子(香川県埋蔵文化財センター)

・見学会

屋島焼伝世品・窯道具の見学

研究会

東日本地区 3回

5月24日(土) 2:00pm 出光美術館

柴柳美佐「ボストン美術館の肥前磁器について」

12月13日(土) 1:30pm 三井記念美術館

松村真希子「色絵金彩薩摩焼の編年について—海外美術館所蔵作品の調査より」

田畑幸嗣(上智大学)「近年のカンボジアにおける窯跡調査成果について—プノン・クーレンとその周辺地域を中心に—」

2009年

3月8日(日)午後1時～ 東京国立近代美術館講堂

杉山道夫(滋賀県立陶芸の森)「信楽におけるアーティスト・イン・レジデンスの試み」

岩井美恵子(岐阜県現代陶芸美術館)「森正洋—現代日本の陶磁器プロダクトデザイン」

川瀬 忍(陶芸家)「現代青磁と自作について」

徳丸鏡子(陶芸家)「自作について—アメリカでの制作体験を踏まえて」

西日本地区 3回

6月28日(土) 2:00pm 大阪市立東洋陶磁美術館

小林 仁(大阪市立東洋陶磁美術館)「山西省の唐時代の俑について(仮称)」

橘 倫子(茶道資料館)「近世後期における丹波立杭焼の生産と流通」

10月18日(土) 2:00pm 大阪市立東洋陶磁美術館

岡田享子(兵庫陶芸美術館)「遼から出土する耀州窯青磁について」

弓場紀知(橘大学・兵庫陶芸美術館)「景德鎮・観音閣の発掘」

2009年

2月21日(土) 2:00pm 九州国立博物館研修室

「中島 宏・金子賢治 対談」

学会誌

第38号:「東洋の鉄絵・鉄砂・錆絵」(第35回大会発表を中心に)

東洋陶磁学会 35年の歩み

会報

第 65 号:平成 20 年 7 月 28 日発行(考古編)

第 66 号:平成 20 年 9 月 30 日発行(総会記念講演編)

第 67 号:平成 21 年 2 月 10 日発行(大会記念講演編)

常任委員会

第 1 回:平成 20 年 4 月 26 日 於出光美術館

第 2 回:平成 20 年 5 月 31 日 於東京藝術大学

第 3 回:平成 20 年 11 月 22 日 於コムズ(松山市)

第 4 回:平成 21 年 2 月 12 日 於出光美術館

編集委員会

会員拡充

その他

学会誌バックナンバー・『東洋陶磁史—その研究の現在—』配布